

応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内（未発表のものに限る）。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。（☎koho@city.shiroishi.miyagi.jp）

市民文芸

歌壇

岩崎聰之介 選

朝夕に見る豊作の庭の柿ただ見るだけか老いの身口惜し
冷え慕ればわれと同じく膝と腰さすりて居りし亡き母思ふ
採り役の夫は大変煮るは私 袖子旨しよと食うは娘か
散り散ける紅葉と雪のうつすらがわが住く山路飾りて呉れつ
夫を見舞ひ夕べとなれば上り電車立錫の余地なく立ちんばうせり
故郷の味わが家の味のほらこ飯鮭の不漁をみんなで嘆く
姉の歳一つ越したる今日なれば遺品の大正琴つまびき偲ぶ
平成の終わりに引きし風邪以来令和の風邪はなかなか癒えず
友達になかなか会えず聞いたればデイ・サービスと通院だと言う
おしゃべりのインコ手のひらが大好きで手の中に子守歌聴きながら逝く
我妻 孝則

評一首目、三句、四句、実感を込めて繋ぎ、老いの情けなさを言い当てていよう。無駄なく簡潔。
二首目、歳ゆけば誰しもへ襲つもの。作者、母者の生前を改めて偲ぶ。
三首目、袖子をめぐって、夫、私そして娘さんが登場。コミカルな描写で括る。

俳壇

山家弘子 選

何よりも無事に感謝し年の暮初霜やりハビリの夫見送りぬ
ラフランス仄かな香り仏間から石段の今朝は落葉のカーペット

菊川いつ子
末吉アツ子
菊地せつ子
佐藤 隆志

柳壇

四竈英夫 選

霰飛ぶ風と一緒にばらばらと城の坂色とりどりの落葉かな
ふわふわと雪虫二匹何処へと雪虫の日毎に数の増えにけり
静かさや城下に響く除夜の鐘袖風呂に手足のばして笑みこぼれ
村 上 八 重 子

評一句目、今年は何事もなく、又健康に恵まれ、穏やかで安らかな日々を過ごすことが出来たことに感謝せずにはいられない。
二句目、一時は大変心配したが、今はリハビリに行けるまでになった。有難いことである。
三句目、仏壇に供えていたラフランスが「食べ頃ですよ」と香りで教えてくれた。

賜杯手に祖国の思い安青錦
袖子七年お願い早く笑をつけて
核家族正月三日大家族
澄み渡り白雲眩し昇り龍
腹減って冬眠できぬ親子熊
今年の字熊という名に戦慄す
文化祭力作並ぶ公民館
収穫の秋も終って冬支度
お姉さんママの言葉でボクの世話
凍りつく師走に知らせお葬式
平 間 大 恵

Shiroishi Market

フレッシュマーケット

～地元農産物の魅力を発信～

地元の農産物や直売所などの魅力をお届けします。

～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進！～

市内の農産物直売所情報▶



菊芋のきんぴら



材料

菊芋、ニンジン
調味料（醤油・砂糖・みりん・酒）
ごま油、いりごま

- ①菊芋とニンジンをせん切りする。
- ②ごま油をひいたフライパンに調味料を入れて火が通るまで炒める。
- ③お好みでいりごまを混ぜてでき上がり。

▲おいしい健康レシピです。ぜひお試しください。

サラダや天ぷらもおすすめ！



栄養豊富な健康野菜「菊芋」

菊芋の名前には「イモ」と付きますが、キク科の植物です。根はショウガに似た形で、菊のような黄色い花が咲きます。

菊芋の主成分であるイヌリンは、糖代謝に効果があるとされています。また、豊富に含まれているビタミン群との相乗効果で、免疫力の強化や高血圧の改善など高い健康効果が期待できます。

栄養満点な菊芋を食べて、冬を乗り切りましょう！

☎農林課 ☎22-1253

皆さんからのすてきな情報を待っています！／

まちかどズームイン

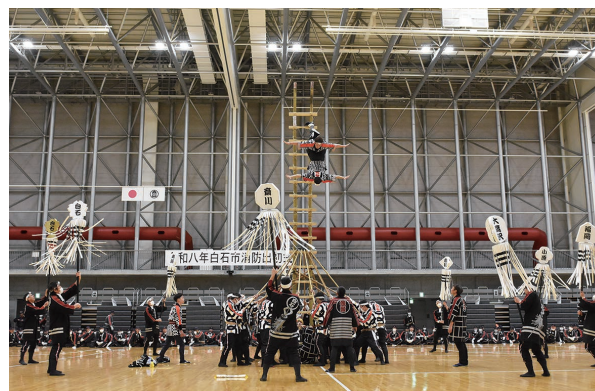


▲愛好家に見守られる中こけしを制作する新山工人夫妻

工人夫妻の響き合う技

弥治郎こけし初挽き

1月2日、弥治郎こけし村に隣接するこけし神社で「こけし初挽き」が行われました。これは、工人の技術向上と1年間の無病息災を願い、その年最初に挽いたこけしを奉納する伝統行事。節目の60回目は、新山吉紀工人と新山真由美工人の夫妻が初共演し、新年最初のこけしを丁寧に仕上げました。



▲伝統階子乗り隊の演技には多くの歓声があがりました

一年間の無火災を願う

令和8年白石市消防出初式

1月12日、ホワイトキューブで「令和8年白石市消防出初式」を開催しました。この日は消防団員約500人が集結。会場では、昨年5月に発生した事故を乗り越え披露された伝統階子乗り隊の演技、幼年消防クラブのアトラクション、消防車両パレードなどが行われ、一年間の無火災を祈念しました。



1_二十歳を祝う会の企画や運営に携わり準備を重ねてきた実行委員の皆さん
2_式典で誓いの言葉を述べる実行委員長佐藤真さん(左)と副実行委員長の石川ほのかさん(右) 3_ 晴れやかな表情の参加者たち

二十歳の誓い 新しい未来へ

令和7年度二十歳を祝う会

1月11日、20歳の節目を祝う「令和7年度二十歳を祝う会」を開催しました。本年度の対象者は平成17年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた241人で、式典には193人が出席しました。会場では、友人との再会を喜び合う姿や、楽しそうに話を交わす様子があちこちで見られ、新たな門出の日を笑顔で迎えてい

ました。二十歳を祝う会代表の佐藤真さんと石川ほのかさんは「皆さまからいただいた励ましのお言葉を胸に、白石市民として、そして社会の一員として誇れるよう、謙虚さとチャレンジ精神を持ち続け、強く、優しく、輝く存在となります」と誓いの言葉を述べ、未来への希望を胸に、新たな一歩を踏み出しました。